



# 向陽台保育園だより

2026年1月5日1月号

向陽台保育園

「自分のことを楽しんでできるこども」「友だちと協力して生活できるこども」

保育目標

「美しいものに感動し表現できるこども」「いのちを大切にできるこども」



## あけましておめでとうございます

園長 菅原恵美子

今年の年末年始も9連休と長い休みとなり各ご家庭でも様々な過ごし方があったかと思えます。

1月は人口の移動より更に感染率も上がる時期です。長期のお休みで崩れた生活リズムを早めに整えて園生活を送れるようにしていきましょう。

さて2026年は午年（うまどし）。そして今年（今年）は60年に一度の丙午（ひのえうま）の年だそうです。丙は「炎のように燃え広がる火」午は「真夏の火」を意味し、火の力が合わさり、一番エネルギーで、情熱や行動力を象徴するとされています。

新しいことや諦めていたことに挑戦するとよい結果に繋がる年になるそうです。

向陽台保育園も大切にしてきたことと同時に、新しいことにも挑戦をしていきたいと思えます。

一生懸命毎日を生きてこどもたちと共に、素敵な時間を過ごさせていただけることに感謝しながら、今年も職員一同力を合わせて保育園運営に努力をして参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 1月の行事予定

1/1(木)～4日(日) **年始年始の休園です**

8(木) 誕生会

12(月) 成人の日 **祝日のため休園です**

**18(土)かぜっこまつり・親子で参加**

21(水) おいもかーい（蒸し芋）

22(木) こまざわ幼稚園交流会（年長児）

### かぜっこまつり

**1/17(土)は、向陽台保育園の新年最初の大きな行事、かぜっこまつりです。**

**おまつりは午前中にあり、親子で楽しめる行事です。**

**地域団体にもお力を頂き、稲城の大丸囃子のお囃子に加え、おめでたい獅子舞も登場です。**

**青少年育成会のポップコーンや平尾にある天地の恵のおにぎりも販売です。お楽しみに！！**

## 劇の会 異年齢の関わりのなかで・・・

12月17、18日は幼児クラスの劇の会がありました。

ホールに舞台を出して、当日のお客さんは保育園のお友だちと職員です。

全家庭にコドモンにて配信させていただきましたので、ご覧いただけただでしょうか。

当日を迎えるまでのエピソードの紹介です。

その1、各おうちの年長さんを中心に劇の会についての話し合いが始まりました。

何の話をやりたいか？に「〇〇のお話がいい！」となるかと思ったら、「〇〇の方がみじかいから～」と思ってもよらぬ選択理由に担任も困惑気味・・・でも、一緒にいる年少さんも楽しめる方がいいことに気が付いたことから題材を考え直した年長さんです。

その2、人前で表現をすることを「楽しめる」「恥ずかしがる」「苦手」は、大人も同じです。できて当たり前なんてことはありません。でも年下の仲間と一緒にいてくれることで、ちょっと頑張ってみようと思える自分がいて、一緒にいたい年上の存在があることで舞台の上でまるで「人」という文字のように互いの存在で支え合っている素敵な異年齢の関わりです。

その3、舞台袖で出番を待っている年長・中・小さん。出番が近づいてくると「もうすぐだからね」「いくよ」と年少さんに声を掛けて、一緒に舞台に誘い出す年長さんの姿。

「劇の会」は完成形を求めるものではなく、こうした異年齢生活仲間の互いの存在を大切に思い、関わり、その存在があることで乗り越えたり、得意なことを認められることで大きな自信に繋がるきっかけ作りを意識しています。

折しも先日、向陽台小学校6年生がプロの劇団の指導を受けた演劇発表を鑑賞した際、まさに保育園時代に多くの苦手感を持っていた彼の、自信に持ち溢れたダンスパフォーマンスに魅了され、彼らの仲間たちの存在がここまで変わったのだと感じた時間でした。



## 今年度の すくわく活動 HP に載せています

昨年度より、とうきょうすくわくプログラムに参加し、積み木活動に取り組み、今年度は「水」をテーマに各年齢でたくさんのワクワクに繋がる不思議・発見のあそび活動に取り組んできました。当園のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

<携帯画面からの閲覧方法>

当園ホームページ>画面左上「三」マーク>園からのお知らせ・すくわくプログラム

